第４号議案　2012年度予算

収入の部

＜一般会計＞

一般会計総額を、16,130,000 円（対決算費 142%）とします。

内訳は、分担金 620 万円（前年予算比同額、決算費 114.1%）、国会請願募金 500 万円(同 113.6%、同 172.9%)、協力会費 250 万円（同 138%、同 174.6%）、賛助会費 30 万円(同 300%、同 162.2%)、寄付金 210 万円(同 79.5%、同 192.5%)。

分担金は前年予算並みになるよう加盟団体を増やし、また各加盟団体にも、一般会計収入の１％以上を基本に増額をお願いします。国会請願募金も請願行動への大勢の参加を含めて運動を盛り上げつつ募金の増をはかります。協力会員は、834 口分（昨年の約２倍）で予算組みをしていますが、さらに大きく広げる努力をします。理事、幹事を中心に、加盟各団体の協力を得ながら増員の努力をお願いします。賛助会費については事務局を中心に団体へのはたらきかけを行います。

＜入れ歯リサイクル活動特別勘定＞

入れ歯リサイクル活動は、新たに取組団体をふやして、新年度収入 400 万円をめざします。

＜東日本大震災支援金特別会計＞

新年度に寄付収入として 20 万円を計上します。

＜難病患者支援事業収入＞

２期目の厚生労働省委託事業「難病患者サポート事業」委託金収入として、2,013 万 3 千円を計上します。

総収入計 40,463,000 円となります。

支出の部

＜一般会計＞

一般会計総額 17,030,000 円（対決算費 92.9%）としました。

ＪＰＡ財政は、活動を円滑にすすめるための運転資金の調達もままならない状況にあります。この状態を健全財政に近づけるため、一般会計の収支バランスを考え、新年度は支出を 10%切り詰める緊縮予算とせざるをえません。

活動に必要な予算を確保しつつ、支出については極力おさえて、昨年度の不足金を返していけるための努力を行います。

＜入れ歯リサイクル活動特別勘定＞

入れ歯リサイクル活動は、寄付総額より、ユニセフ 30%、取組団体 40%、ＪＰＡ30%の割合で処理を行います。新年度はユニセフに 120 万円、取組団体に 160 万円、ＪＰＡは残りの 30%で諸費用を賄います。

＜東日本大震災支援金特別会計＞

引き続き各疾病団体新年度の適当な時期に第２次分として被災地に支援金を届けます。

＜難病患者支援事業費＞

２期目の厚生労働省委託事業「難病患者サポート事業」委託金支出分として、2,013 万 3 千円を計上します。